

平成25年度第7回宇都宮市河内自治会議録

- 1 日時 平成26年2月19日(水) 午後1時30分～午後4時00分
 2 場所 河内地域自治センター 第1・2会議室
 3 出席者
 【委員】 杉原弘修委員(会長), 川上幸子委員(副会長), 大谷津健敏委員, 加藤幸雄委員, 君島京子委員, 小森光晴委員, 櫻井基一郎委員, 関口啓子委員, 多田出芳子委員, 永井寛委員, 中村房夫委員, 宗像茂委員, 森由利子委員, 山田ちい子委員, 山田祐子委員, 我妻勝次委員, 若林知委員
 計17名
 【事務局】 河内地域自治センター所長, 地域自治制度担当副参事, 地域経営課長, 他4名
 計7名

- 4 会議の公開・非公開 公開
 5 傍聴者数 なし
 6 会議経過

(1) 開会

- ・本日の会議の出席者数は17名, 小野章委員, 中澤敏美委員, 船橋あけみ委員が欠席。委員数の過半数に達しているため, 会議が成立することを事務局から報告。

(2) 協議事項

- ・地域まちづくりに関する施策の提案について
 実現プラン(グループ協議)

| 発言者 | 発言内容 |
|-----|---|
| 会長 | 本日は前回に引き続き, 地域のまちづくりに関する施策の提案についてグループ協議を行う。前回の会議で, テーマ「福祉, 健康, 安全・安心」の実現方策について皆さんの意見を副会長と整理し, 資料としてまとめた。まず, 実現方策について確定していく。事務局から説明をお願いする。 |
| 事務局 | 資料1, 参考資料1を説明 |
| 会長 | 何か意見はあるか。 |
| 委員 | (意見なし) |
| 会長 | 次に, 本日のグループ協議の進め方について, 事務局から説明をお願いする。 |
| 委員 | 事務局から, 資料2, 3の説明 |
| 会長 | 何か意見はあるか。 |
| 委員 | (意見なし) |
| 会長 | それでは, グループ協議をお願いする。 |

実現プランのグループ協議を実施

| | |
|----|--|
| 会長 | 実現プランについてグループごとに発表を5分程度でお願いする。質疑応答は, 発表後まとめて行う。B・C・Aの順で発表をお願いする。 |
| 委員 | Bグループの発表をする。 福祉の実現方策「世代を超えた交流の場を充実させる」の実現プランは, 「福祉まつりのイベントなど実施」「世代を超えた昔あそびのゲームや工作を実施する指導者の育成」 |

実現プランについて説明する。

小学校等で授業の一環として年配者を呼び、昔遊びのゲーム等を紹介して子ども達に教える時間を経験した方もいると思うが、そのような方が中心になり教えることによって交流の場が、拡大されるのではないか。

福祉の実現方策「誰もが気軽に利用できる移動手段を確保する」の実現プランは、「デマンドタクシーの発展的有効活用」「公共交通の充実」

実現プランについて説明する。

デマンドタクシーをただ走らせるのではなくて、もっと発展的に利用できれば、移動手段が充実する。受身になってしまうが併せて、公共交通の充実も行っていく。

福祉の実現方策「地域が連携して住民の生きがいをづくりをする」の実現プランは、「自治会単位で創作活動で活性化を目指す」「生涯学習センターを充実させる」

実現プランについて説明する。

自治会単位でいろいろな中身ができています。例としてだが、地区で3つか4つの自治会が一緒になって自治会を超えた活動でもいいのではないかと。創作活動で活性化を図る。生涯学習センターでいろいろな催しものを行っているが、同じようなメンバーで同じような活動が若干見受けられるので、今度新しい自治センターと生涯学習センターができるので、その中で新しい意味合いを含めて、生涯学習をもっと良くするようなことを行っていけば地域の連携が広がっていく。

健康の実現方策「誰もが楽しめるスポーツを通して健康増進を図る」の実現プランは、「ウォーキングマップの作成とPR」「スポーツ教室の充実」「かわちプールの無料化」「かわちプールの法人会員券の発行」

実現プランについて説明する。

ウォーキングマップを作りいろいろな情報を盛り込んでPRして、皆さんに利用してもらおう。スポーツ教室も毎回見直しをして、充実したものにする。かわちプールはある程度のリピーターがいるが、無料化すればもっと底辺が広がるのではないかと。場合によっては法人会員券を発行して費用を作ってはどうか。

健康の実現方策「食育や地産地消を通して健康づくりを進める」の実現プランは、「各地区単位のグルメコンテストの開催」「食の駅づくり」

実現プランについて説明する。

いろいろな地区でグルメコンテストがあるが、河内のグルメコンテストを行ったらどうか。まちづくり協議会でさぎ草汁等をイベントでやっているが、更に底辺を広げるために、地区内でグルメコンテストをやって、いろいろな得意料理を持っている人がいるので、そのような人を発掘すると同時に広めていき、食育によりまちを作っていく。具体的には、食の駅を作ってはどうか。

健康の実現方策「ひとりひとりの健康に対する意識を高める」の実現プランは、「地域包括支援センター有効活用」「健康カレンダーを作る」

実現プランについて説明する。

地域包括支援センターがあるが、一部の人に偏っているように見える。使う立場で地域包括支援センターに、「このようなことを行ってほしい。」と提案して活用すれば、健康に対する意識が高まるのではないかと。健康カレンダーは以前あったが、なくなってしまった。これを復活させて、中身を濃いものにして

| | |
|-----|--|
| | <p>もう一度作り直す。</p> <p>安全・安心の実現方策「交通安全意識を高めて安全で安心な交通環境づくりを進める」の実現プランは、「地域用の危険マップを作成し点検活動の実施」 実現プランについて説明する。</p> <p>交通のことについては、全員、全体で行わないと効果がない。危険マップを作成して改善していきながら、点検活動を行っていったらどうか。</p> <p>安全・安心の実現方策「防災意識を地域に浸透させて防災行動力を高める」の実現プランは、「防災セミナーを定期的開催」「防災訓練の定期的実施（各小規模単位で）」 実現プランについて説明する。</p> <p>防災教室を定期的開催し、防災訓練も定期的実施し小規模単位で行う。年1回の防災訓練があるが、もっと身近なものにする。各地域で小規模単位の防災訓練を受けて底辺まで広げて、災害を未然に防ぐ。</p> <p>安全・安心の実現方策「防犯意識を高めて地域の防犯力の向上を図る」の実現プランは、「警察、学校、家庭を含めた防犯教育と防犯リーダーの育成」「あいさつ運動の推進」 実現プランについて説明する。</p> <p>全員が、「おはようございます。」「こんにちは。」と徹底してあいさつを行う。警察、学校、家庭を含めた防犯教育。マニュアル防犯をリードする防犯リーダーを育成して、中心に活動してもらう。</p> |
| 委 員 | <p>Cグループの発表をする。</p> <p>福祉の実現方策「世代を超えた交流の場を充実させる」の実現プランは、「地域施設を活用し地域交流を図る」「誰も利用できる地域サロンの確保」 実現プランについて説明する。</p> <p>地域の活性を図る上でも、年代を超えた場を設けて一体となって進んでいく。</p> <p>福祉の実現方策「誰もが気軽に利用できる移動手段を確保する」の実現プランは、「地域内交通の充実・拡大」「ミニバスのルート拡大」「ノンステップバスの導入」 実現プランについて説明する。</p> <p>高齢化社会においては、外出するというのが非常に困難になる。移動手段を確保して、いろいろな所に参加できるようにしていく。</p> <p>福祉の実現方策「地域が連携して住民の生きがいをづくりをする」の実現プランは、「人材のデータバンク作成づくりの活用」「生きがいをづくりの教室の開催」 実現プランについて説明する。</p> <p>指導者になる人、得意分野を持った人の体制を作る。</p> <p>健康の実現方策「誰もが楽しめるスポーツを通して健康増進を図る」の実現プランは、「ウォークラリーの開催」「サイクリングロードの活用」「里山散歩道 田園散歩道のルート作成」「笑いヨガの開催」 実現プランについて説明する。</p> <p>健康は運動したり、笑ったり、話をしたりすることが、ストレスの解消にも繋がるし、健康増進に繋がる。</p> <p>健康の実現方策「食育や地産地消を通して健康づくりを進める」の実現プランは、「地域の農産物を使用し大鍋大会を開催する」「地域B級グルメの開発」 実現プランについて説明する。</p> |

| | |
|----|--|
| | <p>ほぼ、Bグループと同じ考え方でプランが出た。</p> <p>健康の実現方策「ひとりひとりの健康に対する意識を高める」の実現プランは、「体力テストの実施」「健康講話の開催」</p> <p>実現プランについて説明する。</p> <p>自分の身体のことを自分で知っておかなければ、いろいろな活動に参加できない。自分の体力を常に把握しておく必要がある。</p> <p>安全・安心の実現方策「交通安全意識を高めて安全で安心な交通環境づくりを進める」の実現プランは、「安全交通講習会の実施（車・自転車・人・バイク等）」「道路環境の情報の収集活用」</p> <p>実現プランについて説明する。</p> <p>昨年12月から、自転車等の交通規制が変わった。自転車に関しても、法的に罰金を払うということもある。特に、高齢者の自転車走行等、知らないで乗っている人の講習会を実施する。道路の整備や信号機等を含めた点検を行っていく。</p> <p>安全・安心の実現方策「防災意識を地域に浸透させて防災行動力を高める」の実現プランは、「防災訓練の充実（各自治会で開催）」「自己防災意識の高揚」「防災無線の設置」</p> <p>安全・安心の実現方策「防犯意識を高めて地域の防犯力の向上を図る」の実現プランは、「声かけあいさつ運動実施」「防犯カメラの推進」</p> <p>実現プランについて説明する。</p> <p>あいさつをすることによって、犯罪者等は顔を見られたという意識が強く、泥棒等をやりづらくなる効果がある。私はワンワンパトロールを行っている。犬を連れてパトロールの服装をして散歩をしている。小学生が下校する時間に行き「おかえり」とあいさつをすると、最初のうちは、誰だろう？という感じで歓迎されなかった。それを続けていくと、「ただいま」とあいさつしてくれるようになる。それを継続していくと小学生から、「ただいま、こんにちは。」と言ってくれるようになる。子どもは、知らない人と話しをしないように言われているせいか、1ヶ月ぐらいかかった。</p> |
| 委員 | <p>Aグループの発表をする。</p> <p>福祉の実現方策「世代を超えた交流の場を充実させる」の実現プランは、「歌声カフェを月1回、地域で開催する」「昔遊びを通しての交流（羽根つき、こま、竹とんぼ）」「自治会公民館などで高齢者への出前講座をする」</p> <p>実現プランについて説明する。</p> <p>昔、歌声喫茶というのがあったということで、復活させて定期的に開くことで、固定されたサークルに入りづらい方が、気軽にひとりでも来られる場所として最適だと思う。羽根つきや竹とんぼの昔遊びを通して、一緒に子どもたちと遊ぶことで交流をする。遠くまで行けない、移動手段がない高齢者向けの出前講座をして喜んでもらう。</p> <p>福祉の実現方策「誰もが気軽に利用できる移動手段を確保する」の実現プランは、「地域内交通網が細部まで行きわたる」「買い物に行けない家庭に、引き売りがある」</p> <p>実現プランについて説明する。</p> <p>引き売りのようなアナログ的なものが、ふれ合いに繋がるのではないかと。福祉の実現方策「地域が連携して住民の生きがいをづくりをする」の実現プラン</p> |

ンは、「小中学校の総合学習補助ボランティアへシルバー人材派遣」「マナビス（生涯学習センターへ登録）」

実現プランについて説明する。

委員の中にもすでに活動をしている方がいるが、小中学校の総合学習の補助のボランティアで、シルバー人材の派遣。まだ経験していない方も、必要となる場所に派遣するということが大切。生きがいとは何だろうと協議した。必要とされているとか、頼られるということが、生きがいに一致するので、家庭内だけではなく、地域でそのような場所を作ってあげると住民が生き生きとした地域にもなるのではないかと。生涯学習のマナビスの登録も、積極的な人は登録するが、宝の持ち腐れのように、才能や特技を持っている方が登録を知らなかったり、謙遜して登録をしなかったりする人もいるので、地域の中を掘り起こして登録してもう。

健康の実現方策「誰もが楽しめるスポーツを通して健康増進を図る」の実現プランは、「河内体育祭を継続させる」「無料体育講座の活用」

実現プランについて説明する。

無料体育講座を実施しているということ浸透させて、いろんな人が活用できるしくみが必要になってくる。

健康の実現方策「食育や地産地消を通して健康づくりを進める」の実現プランは、「食育セミナーを定期的に開催する」「地区内の農産物直売所マップを作成し配布する」

実現プランについて説明する。

いろいろな野菜や野菜の作り方とかを直売所で活用して、どこにあるかわからない方にマップを作って知らせ、直売所でイベントとか講座を設ける。

健康の実現方策「ひとりひとりの健康に対する意識を高める」の実現プランは、「健診に行くと、お楽しみ講演会（落語）がある」「アスリートを招いてスポーツ講座」

実現プランについて説明する。

健診というものを楽しみにしてもらおう。普通の健診だと面倒で行かない方も、待っている間に落語が聞けて、落語をする人も地域の人が行えば、楽しみながら受診できる。託児付きの健診等、ニーズに合わせると健診率が上がる。アスリートの方に来てもらえば、健康に対する意識を高めるということで、メンタルな部分でチャレンジする気持ちや気持ちが若返り、子どもたちのためにも楽しい講座になる。

安全・安心の実現方策「交通安全意識を高めて安全で安心な交通環境づくりを進める」の実現プランは、「イケメン人力車」「自転車マナー（ルール）の講座を行う（小中学生）」

実現プランについて説明する。

イケメン人力車は、名物になるのではないかと案。体力に自信のある人や体力を付けたい人を活用して、交通手段としてはエコにも繋がり良いのではないかと。交通事故の死亡を意識した講座を行う。

安全・安心の実現方策「防災意識を地域に浸透させて防災行動力を高める」の実現プランは、「町内放送復活（地域の学校に協力してもらおう）」「町内掲示板の復活（緊急時）」

実現プランについて説明する。

| | |
|-----|--|
| | <p>アナログ的な発想だが、町内放送を復活させる。地域が広いので、学校に協力してもらい、災害や緊急に知らせてもらいたいことなどを放送する。町内放送が難しい場合や、口コミとか回覧でも遅れる場合は、掲示板で緊急時等の連絡をする。緊急メールを見る人もいるが、掲示板を見て新聞よりも早く周知できるので復活させる。</p> <p>安全・安心の実現方策「防犯意識を高めて地域の防犯力の向上を図る」の実現プランは、「各自治会単位に防犯の組織が整備される(防犯パトロール隊)」「防犯灯の設置(痴漢、おきびきの多い公園や通り)」</p> <p>実現プランについて説明する。</p> <p>高齢者の方が蛍光色のジャンパーを着て積極的に防犯パトロールを行っている。ただ、世代交代があった時に、果たしてそれが持続できるかどうか課題になる。痴漢や置き引きが多い公園や通りで具体的には、緑の公園からふれあい通りにかけて金網だけではなく、防犯灯を多く設置して皆さんの危険を回避できるようにする。</p> |
| 会 長 | 3つのグループから実現プランについて発表された。何か意見はあるか。 |
| 委 員 | (意見なし) |
| 会 長 | <p>本日いただいた意見は副会長と整理し、次回の会議でお示しする。今年度の会議は本日が最終回となる。次回は、委員にとっては2年目に入るの、来年度もよろしく願います。</p> <p>次回の会議は、平成26年度第1回自治会議となるが、合併市町村基本計画の執行状況についてと本日協議いただいた実現プランについて、全体協議を行う。</p> |

(3) その他

- ①次回の開催日程については、平成26年4月に予定。詳細は後日連絡。
平成26年度河内自治会議開催日程(案)について説明。
- ②河内生涯学習センターからお知らせ。
- ③まちづくり協議会より地域内交通について情報提供。

(4) 閉会